

あゆみ

バムから

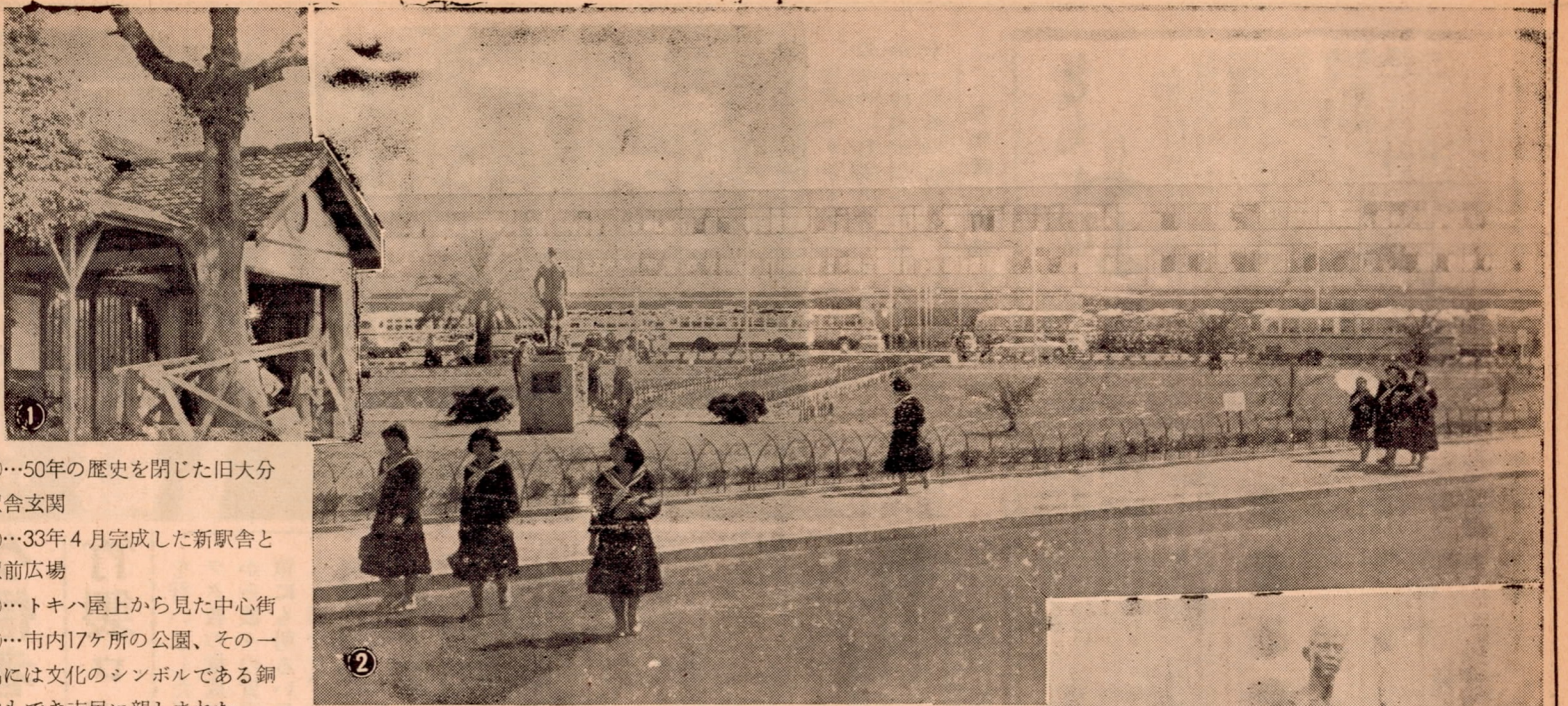


大分市長
上田 保

市長になつて過去を顧みれば、かつてのその
灰の一片も、大分市は時代の波に、これ
を建設の奥深く埋め、今はあとかたもあり
ません。それは早稲の芽の緑に、またたく

終戦直後の
大分市、そ
れは全く灰
色一色の町
でしたが、

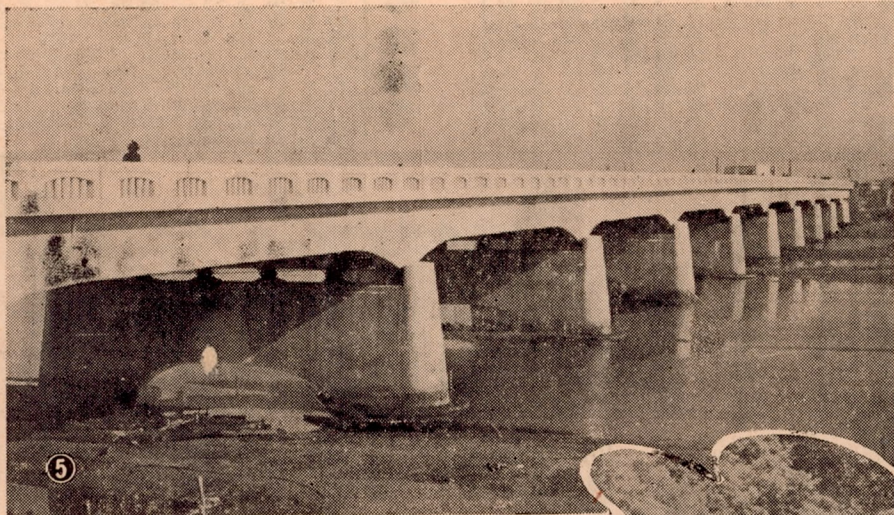
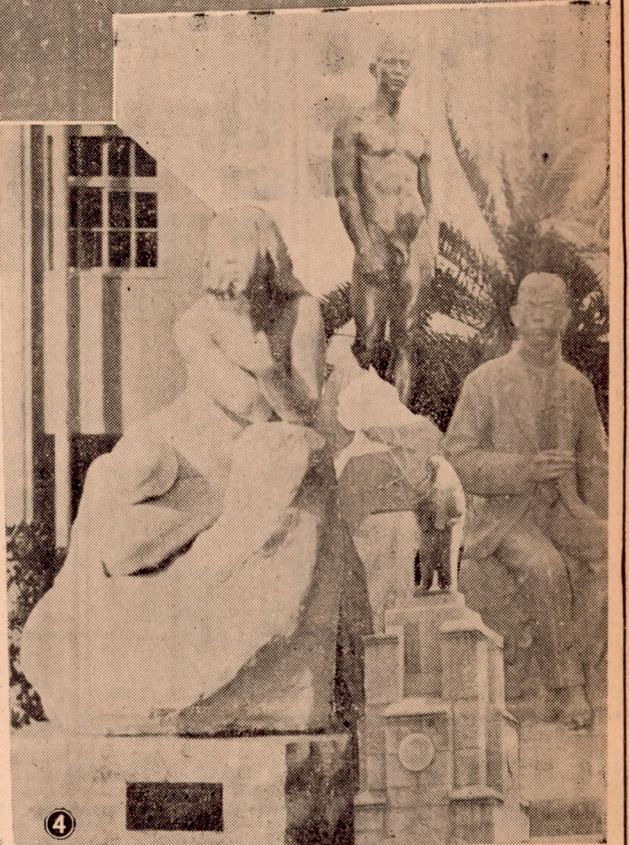
- ①…50年の歴史を閉じた旧大分
駅舎玄関
- ②…33年4月完成した新駅舎と
駅前広場
- ③…トキハ屋上から見た中心街
- ④…市内17ヶ所の公園、その一
隅には文化のシンボルである銅
像もでき市民に親しまれた



左…みどりのかけ 上…青年像 下…大友宗麟 右…滝廉太郎



- ⑤…衛生的で清潔感のする東部火葬
場
- ⑥…雪さでは日本第二位の舞鶴橋
- ⑦…養老施設清心園、左…作業を終
つて一やすみ右、としよりのわずか
な収穫も、同じ境遇のわかば園児へ
- ⑧…入道トンネル



市政のあゆみ

広報アルバムから

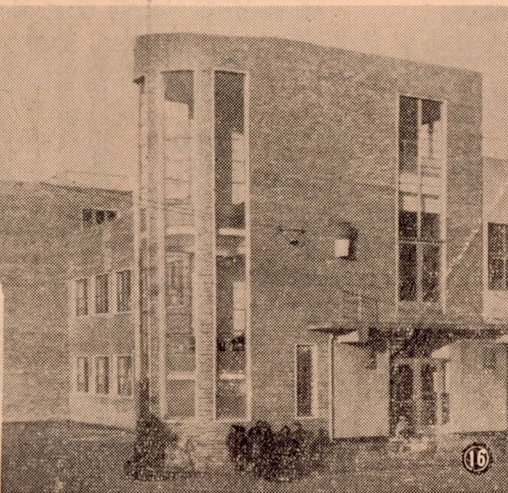
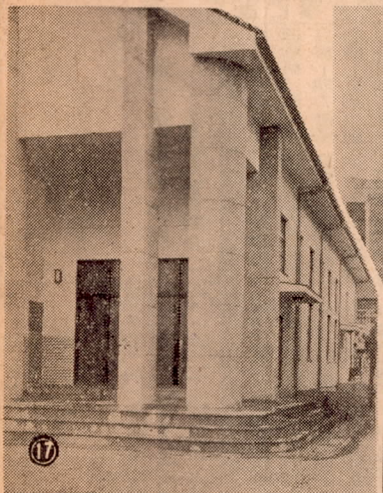
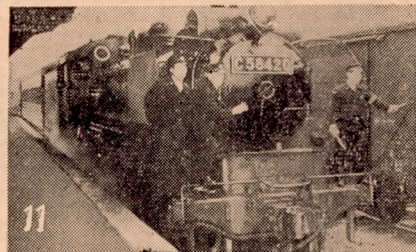
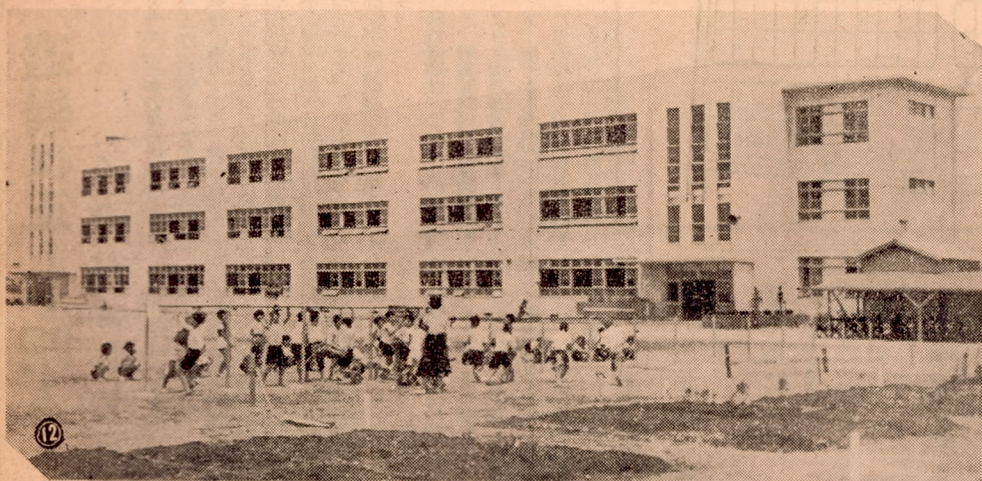
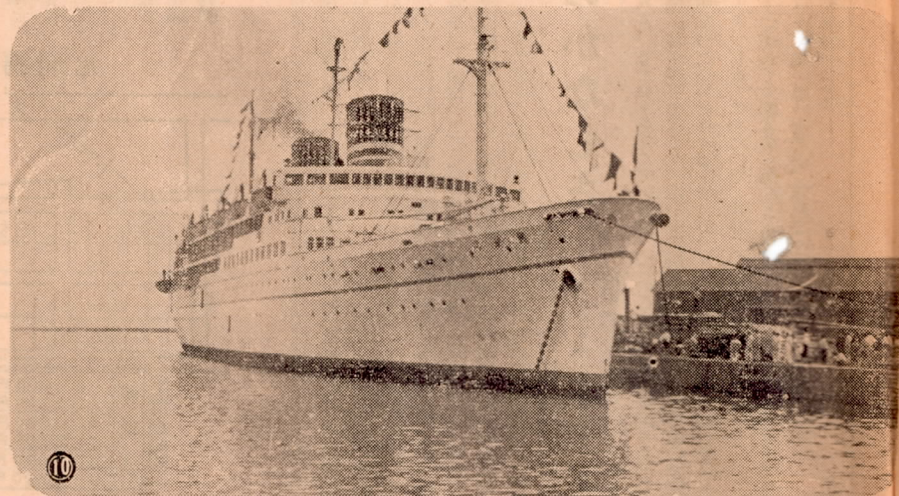
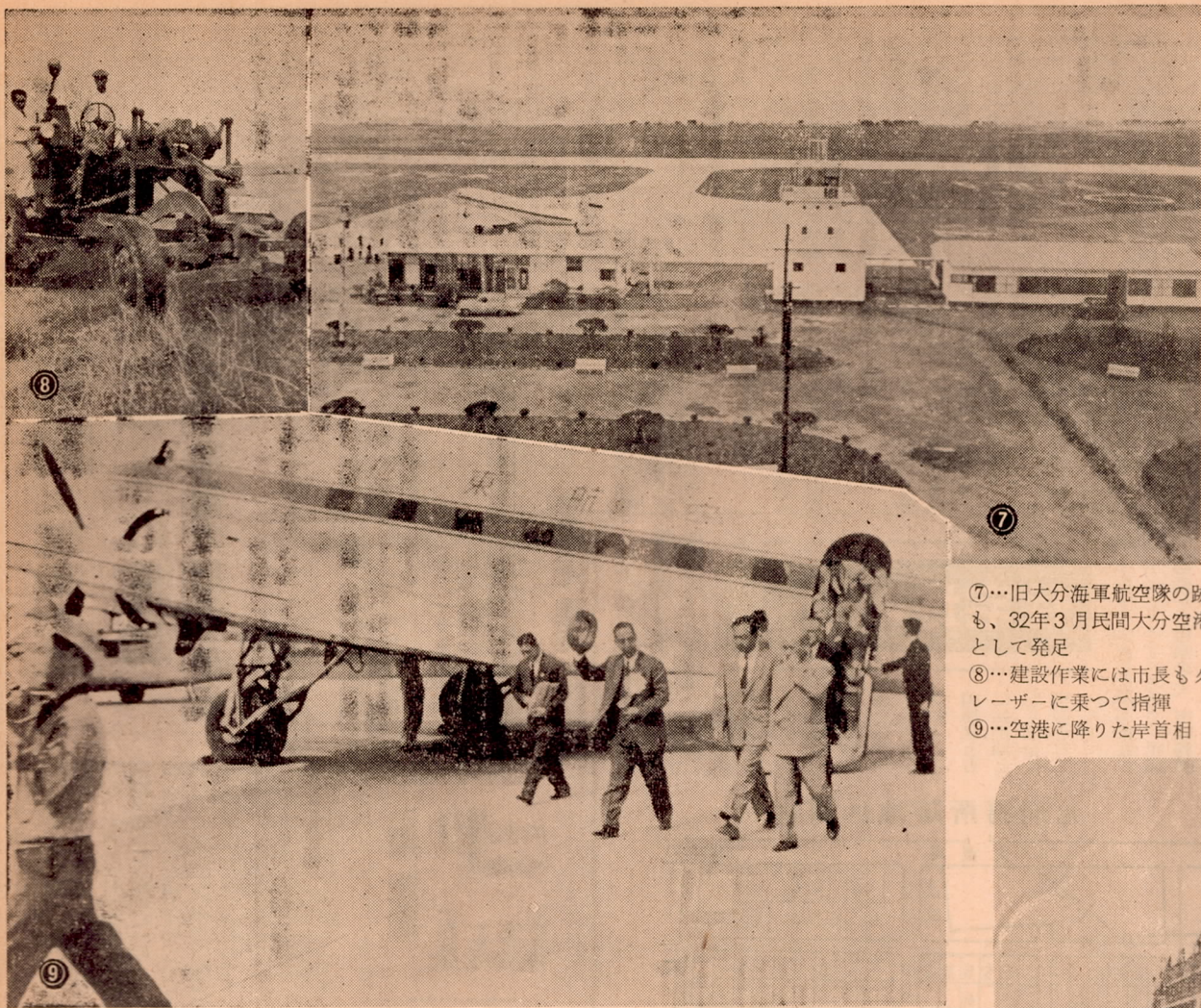


終戦直後の大分市、それは全く灰色一色の町でしたが、

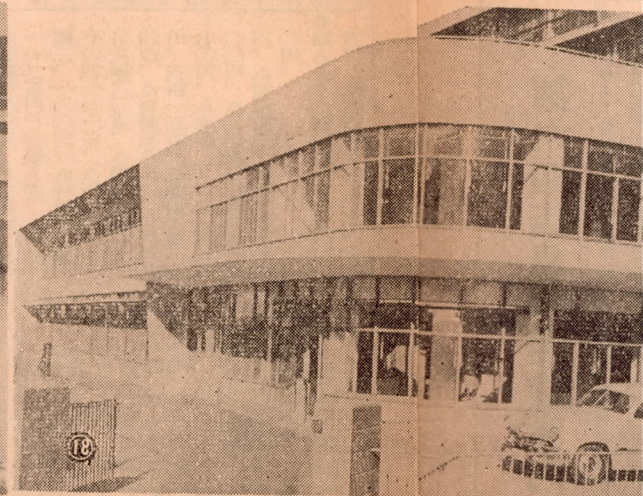
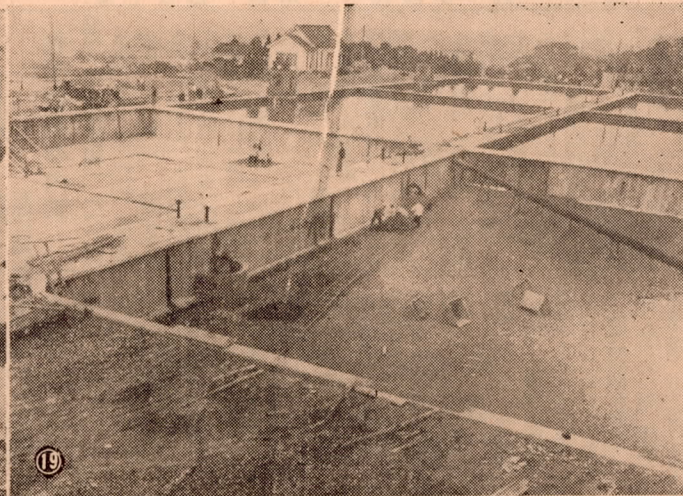
市長になつて過去を顧みれば、かつてのその灰の一片も、大分市は時代の波に、これを建設の奥深く埋め、今はあとかたもありません。それは早春の若芽の様に、またたくすと成長するおさなごにも似た柔軟なテンポで成長してまいりました。

十有余年、市民と共に歩んできたこの街。何時の日か私も市民と共に、この大地に骨を埋めるのかと思うと、俄然新しい希望へのフアイトが湧いてきます。この移り変わる時代の流れの岸に立つて、新しい時代の姿を眺めると、この「勝利の歴史」こそ市民と市政の大団結の成果だと思います。

⑦…旧大分海軍航空隊の跡も、32年3月民間大分空港として発足
⑧…建設作業には市長もグレーザーに乗つて指揮
⑨…空港に降りた岸首相



⑩…海の玄関大分港は7千トンの奥安丸も岸壁に横付
⑪…臨港線の完成は、その後営業線へ切替えられ大分港駅も誕生した
⑫…大分港5万平方メートルを埋立て、石油基地建設起工式
⑬…新校区に住吉校誕生
⑭…上田市長の吹くホラ貝一声で年間1,500万円のモンキーマウントになった
⑮…上田市長になつた高崎山のサル
⑯…両陛下のご視察
⑰…上ノ丘中学校
⑱…碩田中学講堂
⑲…伝染病隔離施設三養院
⑳…完備した三芳浄水場
㉑…滝尾地区のミカン園開墾



㉒…衛生的で清潔感あふれる市庁舎
㉓…すきでは日本第一の養老施設清心園
㉔…つて一やすみ右、となり取交も、同じ境遇
㉕…大分トンネル

